

秋から二つの事業開始

「健康寿命日本一の横浜」へ

公明党横浜市会議員団

仁田まさとし



仁田まさとし プロフィール

- 横浜市会副議長
- 市民・文化観光・消防委員会
- 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会
- ◇施政方針は「動く、創る、変える。」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
- Facebook 情報発信中

横浜市は生活習慣病に着目した健康づくりの指針「健康横浜21」に基づく取り組みを進めています。楽しみながら健康づくりを行

う「健康寿命日本一」を目指すものです。

健康寿命は、健康上の問題で日常生活が制限されることがあります。しかし、それでも生活ができる期間のことです。2010年の調査で、横浜市の男性は70.

女性は最も短いという結果

93歳、女性は74・14歳でした。健康寿命を延ばすためには、区ごとの健康寿命は、調査数が少ない「健康寿命日本一」を目指すことがあります。

「日常生活に介護を要しない」「平均自立期間を参考値として公表しています。これによると、南区の男性は市内18区で3番目に短く、女性は最も短いという結果

3年、女性は4年・14歳でした。20政令市の中では上位ですが、日本一を目指すことは、南区が重点的に取り組むべき課題です。

仁田まさとし

仁田まさとし

630円のみです。問い合わせは事務局☎0570・080・130。

11月からは、参加登録料金のみです。問い合わせは事務局☎045・662・7557。

申込みはすでにイベントに参加すると、スタートがもらえ、3つ集めると抽選で景品が当たります。問い合わせは事務局☎045・662・7557。ぜひ、この二つの事業に興味を持ったとき、参加してくださることを願っています。

スタンプラリーも

私は以前から市会で「健

康づくり事業は民間事業者と連携して行うべき」と主張してきました。今後も地域関係団体などとも連携していくながら、事業を進めています。

歩いてポイント

一つは、40歳以上の市民を対象に、健康機器メーカー

を対象に、健康機器メーカーと連携して行う「よこ

歩いてポイント事業」です。参加登録料金はまウオーキングポイント事業」です。参加登録者は配られる歩数計を商店街などの協力店舗にある専用リーダーにかざすと、歩数に応じてポイントが貯まります。ポイントによって抽選で商品券などがもらえ、楽しみながら健康づくりがで

きます。申込みはすでに始まており、10月からは郵便局でも受け付けを始めました。ポイントを貯められるのは11月からです。参加者の負担は歩数計送料の630円のみです。問い合わせは事務局☎0570・080・130。

私はこれからも健康に関連する取り組みを進め、「健康寿命日本一」を目指します。

「がん撲滅条例」施行

日本人の3人に1人の命を奪う「がん」の撲滅へ向け、向

けた責務を定義し、予防や早期発見につなげよう

として、市会議員の提案によって成立した「横浜市がん撲滅条例」が10月1日

から施行されました。私はこれからも健康に関連する取り組みを進め、「健康